

2025 年度前期

武蔵野学院大学大学院 武蔵野学院大学 武蔵野短期大学

授業評価アンケートに関する報告書
(要約版)

2025 年 9 月

武蔵野学院大学 武蔵野短期大学

IR 委員会

※本報告書はホームページ上(学外公開用)の要約版です。自由記述欄に関する文言・図表など、個人情報保護および守秘義務の観点から、本報告書では一部の内容を割愛しています。

目次

はじめに	2
2025 年度前期授業評価アンケート 結果概要.....	3
1. 2025 年度前期 授業評価アンケート実施概要.....	3
2. 回答者の内訳	4
3. 授業評価アンケート 回答率に関する結果	4
4. 項目別評価	4
5. 自由記述でみられた特徴	6
6. おわりに	7
(参考) 設問別回答構成	8

はじめに

本学では、自己点検・評価の一環として、「授業評価アンケート」を実施しています。このアンケートは、学生が授業への取り組みを振り返り、到達目標の達成度を自己評価することで、学修に関する課題を明確にし、学生の主体的な学修への意識を高めることを目的としています。さらに、学生の視点から教員の授業への取り組み方を可視化し、その結果を学生の自己評価と合わせて、継続的に授業改善に活かすこと、それらを踏まえてカリキュラムの組織的検証にも活用することを目指しています。

授業アンケートの実施に際し、IR 委員会では質問項目や実施時期等の検討を行っており、先生方や回答する学生に対してアンケート趣旨の徹底にも努めております。本学における授業アンケートはオンラインで実施されているにも関わらず、履修者総数 4,843 名に対し、総回答数は 3,096 件、回答率は 63.9%と高い回答率を維持しています。また、全授業科目(実習・実習指導科目を除く)に対して回答があった科目の割合＝回答科目率も 100%と高い割合を維持しています。

また、自由記述への回答数は 582 件と、昨年度の回答件数から増加しています。今後は、各部署および教員が、これらのデータを活用し、さらなる教育改善に結びつけることを期待しています。

なお、集計結果については本報告書にまとめ、学内外に公表いたします。また、授業評価アンケートの集計結果・回答内容は、アンケート実施の趣旨・目的以外に使用してはならず、業務上の関連部署には守秘義務が課されます。

本学の教職員の方々には今まで以上にご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

2025 年度前期授業評価アンケート 結果概要

【回答率の推移】

- ・大学：48.6%で横ばい傾向
- ・短期大学：93.4%（2023 年度前期以降一時的に低下したが改善）
- ・大学院：100%（上昇傾向）
- ・全体：63.9%（前年同時期と大きな変動なし）

【項目別の特徴】

- ・全体平均：4.45 ポイント（前年後期比+0.09）
- ・高評価項目：授業時間の遵守（4.74）、シラバスの順守（4.71）
- ・低評価項目：予習復習時間（1.65）
- ・標準偏差が大きい項目（1.0 以上）：教材の有益性（Q7）、予習復習時間（Q12）
→科目特性（語学／講義／実技）による評価の差が大きい

【自由記述の傾向】

- ・良かった点：大学＝「資料の分かりやすさ」「グループワーク」「実用性」など
短期大学＝「実践・実演」「個別支援」など
- ・改善要望：大学＝「学習環境（声・板書・私語対応）」「授業構成」など
短期大学＝「授業進行」「資料や声の聞きやすさ」など

【結果を受けて】

- ・学年による差は小さい一方、科目特性による違いが大きい可能性
- ・教材や予習復習の項目では、回答のばらつきがみられた。
- ・今後は、各授業の工夫や改善事例を FD 活動・授業設計に還元し、学生間の差を縮める取り組みが求められる。

1. 2025 年度前期 授業評価アンケート実施概要

- 1) 実施期間：全 9 回授業：2025 年 5 月 19 日（月）8:30～2025 年 7 月 25 日（金）19:00
全 15 回授業：2025 年 7 月 7 日（月）8:30～2025 年 7 月 25 日（金）19:00
- 2) 実施科目：2025 年度前期 開講科目（クラス別講義を含む。実習関連科目は除く）。
大学 134 科目、大学院 13 科目、短期大学 49 科目（うち 9 回授業 13 科目）
計 196 科目。
- 3) 実施方法：原則として、実施期間の該当科目授業時間に実施した。スマートフォン等から Web システム「Musashino Academic Station（以下；MAS）」を利用して回答。
- 4) 質問項目：選択式（5 件法）の設問 14 問および自由記述式の設問 2 問 計 16 問（表 1）。
- 5) 結果の提供：学生、教員ともに MAS から参照可能。

2. 回答者の内訳

今期の開講科目 209 科目中、実習および実習指導に関する科目を除いた、196 科目（99.5%）で回答が実施された。該当科目の受講者総数（延べ人数）は 4,843 人（大学 3,187 人、大学院 16 人、短期大学 1,640 人）であった。回答者の総数（延べ人数）は 3,096 人（大学 1,548 人、大学院 16 人、短期大学 1,532 人）であった。

3. 授業評価アンケート 回答率に関する結果

【全体回答率】

今期の授業評価アンケートの回答率について、大学 48.6%、大学院 100.0%、短期大学 93.5%、全体では 63.9%となった（数値は小数第 2 位を四捨五入）。昨年度前期との回答率の比較では、大学は回答率 4.3%減、大学院は 11.1.%増、短期大学は 16.5%増、全体では 2.2%減となった。なお回答率は、各科目の算出結果(回答率)を単純に平均している。

回答率の推移について、現在の形式で開始した 2023 年度前期からの比較を図示した。大学ではおおむね横ばいで、50%前後で推移している。大学院は対象者が限定的であるものの、継続的に上昇し、直近では 100%に到達している。短期大学は 2023 年度後期に一時的に低下したが、2025 年度前期には改善している。回答率については、必修科目の割合や授業での周知の機会の有無などが影響していることが考えられる。（図 1）

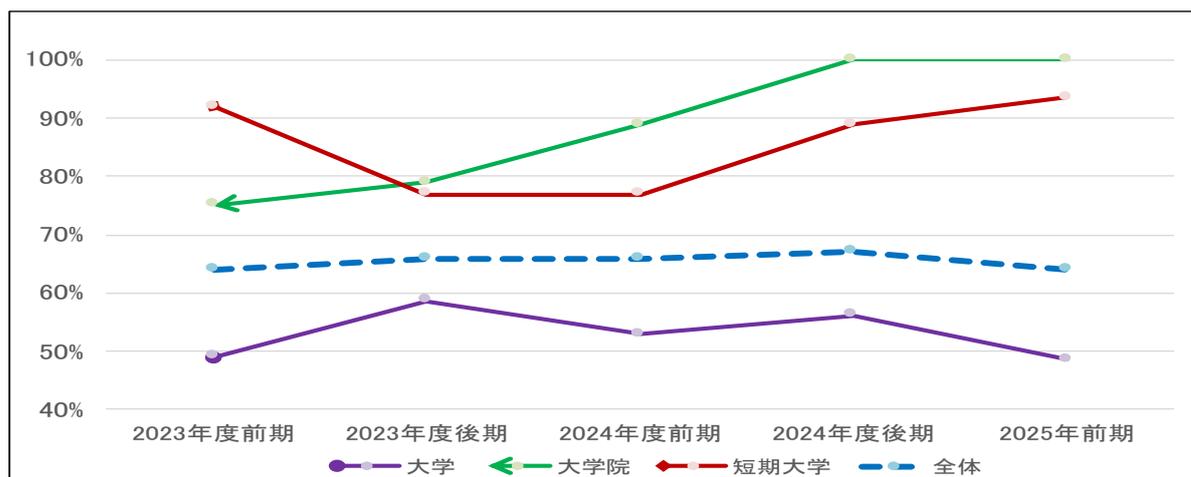


図 1. 回答率の推移(現在のアンケートを開始した 2023 年度以降のもの)

【その他回答率】

- ・専任・非常勤別の回答率：(大学) 専任 52.6%、非常勤 44.5%
(大学院) 専任 100.0%、非常勤 100.0%
(短期大学) 専任 93.7%、非常勤 93.2%
- ・学年別回答率（概算）：(大学) 1 年 74.2%、2 年 43.9%、3 年 35.6%、4 年 48.0%
(短期大学) 1 年 93.4%、2 年 93.3% ※大学院は分類が困難なため割愛

4. 項目別評価

今年度の授業評価アンケートでは設問数の削減、順序の整理、文言の調整を行い、選択式 14 問、自由記述 2 問の計 16 問の構成で回答を依頼した。表 1 に選択式の設問内容および結果を示した。（以下、数値は全て小数第 3 位を四捨五入）

1) 全体の平均・傾向

2025年度前期の全回答平均は4.42ポイントで、2024年度後期の平均(4.36)より0.06ポイント上昇した。

表1. 授業評価アンケート 選択式設問および各年度の平均値

(選択肢:「5:そう思う」「4:大体そう思う」「3:どちらでもない」「2:あまりそう思わない」「1:そう思わない」、
例外の設問は枠内に記載) ※ ()内は標準偏差

設問	内容	大学	大学院	短大	総計
1	この授業に対してのあなたの出席状況はどの程度となっていますか。 (5:90%以上、4:70~89%、3:50~69%、2:30~49%、1:30%未満)	4.47 (0.74)	4.94 (0.24)	4.79 (0.51)	4.63 (0.66)
2	教員は授業の目標を十分に学生に説明していましたか。	4.64 (0.71)	5.00 (0.00)	4.75 (0.57)	4.70 (0.65)
3	授業内容は『シラバス』の内容に沿ったものでしたか。	4.69 (0.64)	4.75 (0.43)	4.73 (0.57)	4.71 (0.61)
4	授業の中で成績評価の方法は明示されていましたか。	4.64 (0.71)	4.69 (0.46)	4.73 (0.56)	4.69 (0.64)
5	教員は授業の開始・終了の時間を守って授業を進めていましたか。	4.73 (0.64)	5.00 (0.00)	4.76 (0.59)	4.74 (0.62)
6	教員は効率的に教材(板書、スライド、動画、演習用教材など)を使用していましたか。	4.67 (0.70)	5.00 (0.00)	4.72 (0.65)	4.70 (0.68)
7	教科書・参考書・配付資料などは有益でしたか。 (0:使用していない、を含めた6件法で評価)	4.37 (1.26)	5.00 (0.00)	4.50 (1.04)	4.44 (1.16)
8	教員の声の大きさや口調は分かりやすかったですか。	4.64 (0.77)	4.81 (0.53)	4.68 (0.74)	4.66 (0.75)
9	教員は学生の質問や相談に対応していましたか。	4.63 (0.74)	5.00 (0.00)	4.67 (0.70)	4.65 (0.72)
10	教員は学生の理解力や反応に配慮して授業をしていましたか。 (例:難しい語句の説明など)	4.59 (0.80)	4.94 (0.24)	4.68 (0.69)	4.64 (0.74)
11	あなたはこの授業に積極的に取り組んでいましたか。	4.54 (0.75)	4.63 (0.60)	4.60 (0.69)	4.57 (0.72)
12	この授業について1週間あたり平均してどの程度予習・復習などの時間外学習をしましたか。(予習・復習の内容は、各科目のシラバスに記載があります) (5:4時間以上、4:3時間以上4時間未満、3:2時間以上3時間未満、 2:1時間以上2時間未満、1:0分以上1時間未満)	1.77 (1.13)	3.25 (1.44)	1.52 (0.98)	1.65 (1.08)
13	あなたはこの授業の内容に満足しましたか。	4.50 (0.86)	5.00 (0.00)	4.64 (0.72)	4.57 (0.79)
14	これまでに授業を振り返って、内容は理解できましたか。	4.36 (0.82)	4.56 (0.50)	4.59 (0.70)	4.52 (0.77)
-	全体平均	4.38 (0.81)	4.75 (0.32)	4.45 (0.69)	4.42 (0.76)

2) 今回の結果の特徴

今回の結果では、設問によって標準偏差が大きく、回答が分かれる傾向が見られた。標準偏差とは回答のばらつきを示す指標であり、0に近いほど回答が揃っていることを意味し、数値が大きいほど学生の評価が分かれていることを示す。5件法のアンケートでは、一般的に多くの設問で標準偏差は0.5~0.8程度に収まりやすい一方、1.0を超える場合は学生間で評価が割れていると考えられ、科目特性や学生層の違いが影響していると考えられる。

特に設問7「教材の有益性」、設問12「予習復習時間」では標準偏差が1を超えており、授業や学生の取り組みによって満足度や学習時間の差が現れていると考えられる。これらの設問について、学年別に大きな傾向の違いは確認されなかった。一方で、授業別に確認したところ、大学では設問7について、語学科目とそれ以外の講義系科目で評価のばらつきが見られた。短期大学では、特に予習復習の時間について、実技系科目とそれ以外の科目で評価のばらつきが見られた。

※設問の回答構成は、末尾に掲載しています。

5. 自由記述でみられた特徴

自由記述については、「授業の良かった点」、「改善を希望する点」に関する2問を設置した。※自由記述欄の内容については、個人情報保護および守秘義務の観点から、本報告書では傾向の記述に留め、具体的な回答およびワードクラウドを含めた図表は割愛しております。

5-1. 設問15：この授業について、特に良かった点がありましたら、記入してください。(例：授業中のグループワークが勉強になった、私語への対応が行われていた、など。)について

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答を除くと、合計で439件の回答があった。例えば大学では、「(資料・説明の) 分かりやすさ」や「グループワーク」、「実用性」に関するコメントが多く見られ、短期大学では「実践・実演」、「グループワーク」、「個別支援」などに関するコメントが多い点が特徴として挙げられた。以下、機関ごとの結果を示す。なお、大学院(9件)は回答人数が限定されるため、大学に含めた。

【大学・大学院】

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答を除くと、262件の回答があった。

具体的な取り組みを含む回答を抜粋して分類したところ、大学では、「(資料・説明の) 分かりやすさ」や「グループワーク」、「実用性」に関するコメントが多く見られた。

【短期大学】

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答を除くと、177件の回答があった。

具体的な取り組みを含む回答を抜粋して分類したところ、短期大学の授業の「良かった点」について、主に「実践・体験に関すること」、「グループワークでの関わり」、「個別性」に関するコメントが多く見られた。

5-2. 設問16「この授業に改善してほしい(ほしかった)と感じる点がありましたら、記入してください」(例：授業が進むのが速かった(遅かった)、スライドの文字が小さかった、など)について

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答を除くと、合計で143件の回答があった。大学では、「学習環境(声、板書、私語のへの対応)」や「授業の構成(資料、難度など)」、

「課題・評価」に関するコメントが多く見られ、短期大学では「授業の進行」、「授業の構成（資料、教員の声など）」に関するコメントが多い点が特徴として挙げられた。なお大学院は0件だった。以下、機関ごとの結果を示す。

【大学】

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答を除くと、90件の回答があった。

要望を含む回答を抜粋して分類したところ、主な項目として「学習環境（声、板書、私語への対応）」や「授業の構成（資料、難度など）」、「課題・評価」などが挙げられた。

【短期大学】

上記設問について、「特になし」またはそれに類する回答を除くと、53件の回答があった。

要望を含む回答を抜粋して分類したところ、主な項目として「授業の進行」、「授業の構成（資料、教員の声など）」などが挙げられた。

5-3. 設問 17 授業評価アンケート結果を踏まえた教員の振り返り

2023年度後期から、授業評価アンケート結果を踏まえた教員自己点検が開始された。2024年度よりMAS上で回答を行う形式に変更した。

得られた回答について、適宜参考になる意見を収集していただくことを目的とし、別表に一覧として掲載した。主に授業内容全般の見直し、グループワークの進め方、進度の調整、資料の工夫や配信、私語など学生への対応、予習復習などについての現状や今後の検討事項について回答された。また、昨年度の結果から工夫したこと、学生の要望に応えられない場合はその理由についての説明がなされるなど、振り返りと見直しに繋がる回答が得られた。各授業の回答については、後日受講学生を対象に公開する予定である。

※各教員の振り返りについては、各科目の受講学生および授業担当者を対象に配信しました。そのため、本報告書では割愛しています。

6. おわりに

特に自由記述の結果については、回答が熱心な学生や不満の強い学生に偏る傾向があることも考慮する必要がある。より幅広い学生の声を収集するために、アンケート実施時に「授業改善に役立つための設問である」と位置づけを明確に示すことを継続し、具体的な観点を例示するなど、回答しやすくする工夫が求められる。自由記述の趣旨や書き方を説明することで、学生の記述がより多様で具体的なものになることが期待される。

今後は、こうした工夫を取り入れつつ、教員の授業における具体的な取り組みや実践例を収集・共有することで、学生の学びや授業改善にさらに結びつけていくことが検討できる。

2025年度後期以降の予定

・2025年度後期授業評価アンケート：前期と同様、全9回授業と全15回授業の終了時期に応じて実施予定。

・授業評価アンケート～教員の振り返り～授業改善の効果についての点検（PDCAサイクルとして運用）。

・現状は前期・後期に殆どの科目で授業評価アンケートを実施しているが、実施頻度、実施科目などを検討する。

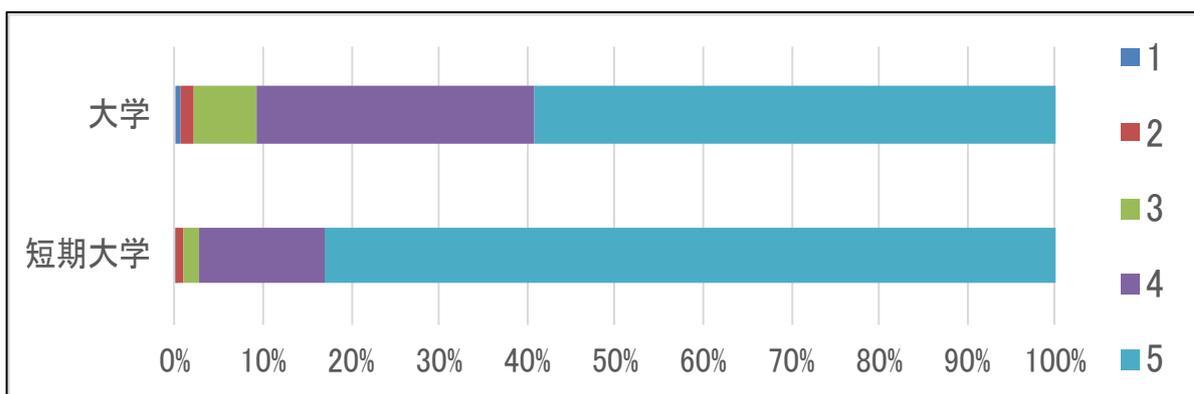
(参考) 設問別回答構成

(選択肢：「1: そう思わない」「2: あまりそう思わない」「3: どちらでもない」「4: 大体そう思う」「5: そう思う」、例外の設問は別途記載)

※受講人数の都合から、大学・短期大学の結果のみ掲載しています。

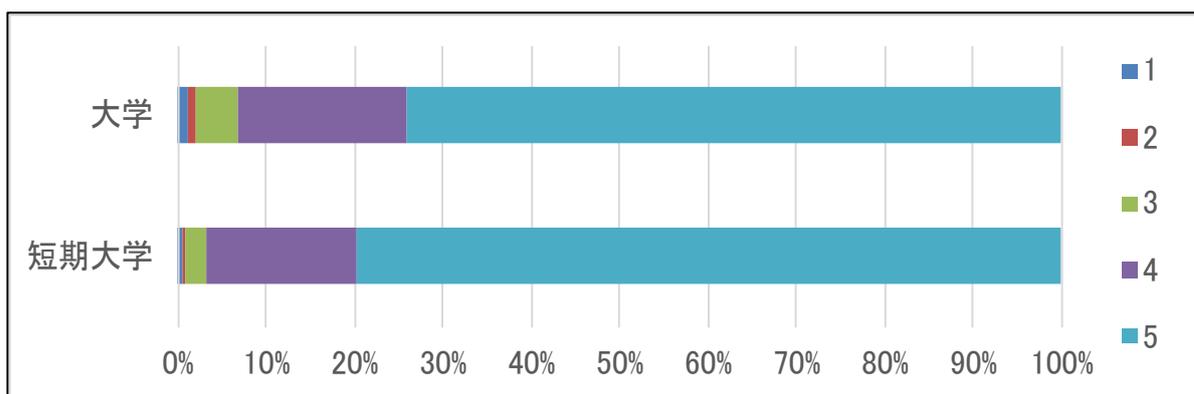
設問 1. この授業についてあなたの出席状況はどの程度でしたか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	11	20	110	492	915	1548
短期大学	1	11	31	217	1272	1532
総計	12	31	141	709	2187	3080



設問 2. 教員は授業の目標を十分に学生に説明していましたか。

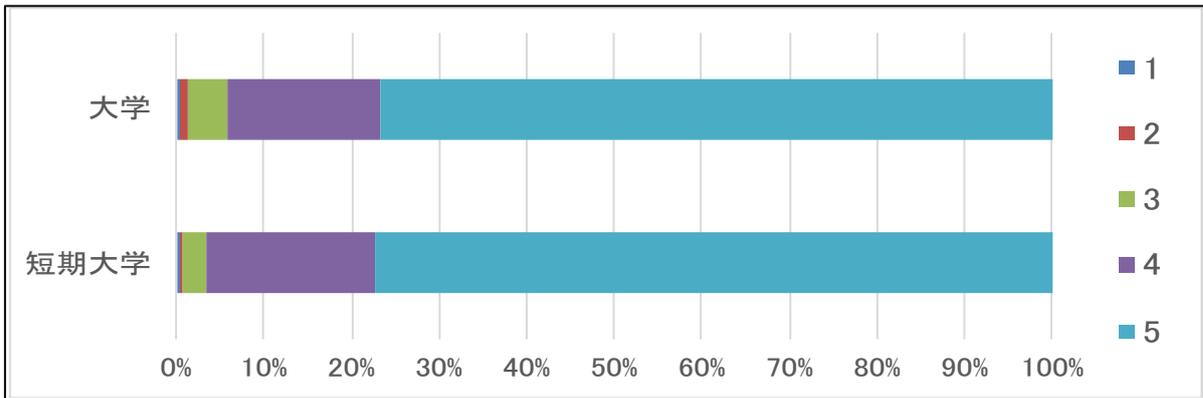
	1	2	3	4	5	総計
大学	17	13	76	293	1149	1548
短期大学	8	6	37	256	1225	1532
総計	25	19	113	549	2374	3080



設問 3. 授業内容は『シラバス』の内容に沿ったものでしたか。

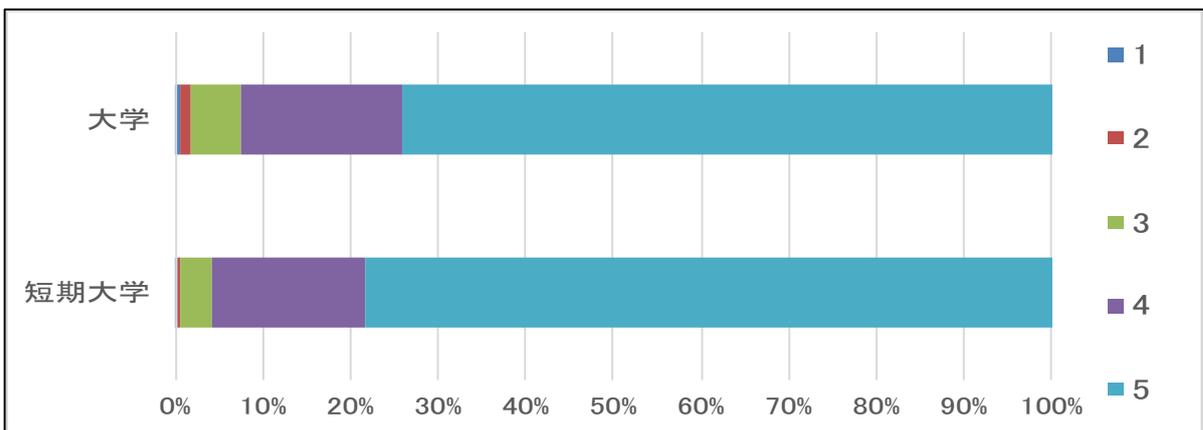
	1	2	3	4	5	総計
大学	9	11	69	273	1186	1548
短期大学	6	4	45	292	1185	1532

総計	15	15	114	565	2371	3080
----	----	----	-----	-----	------	------



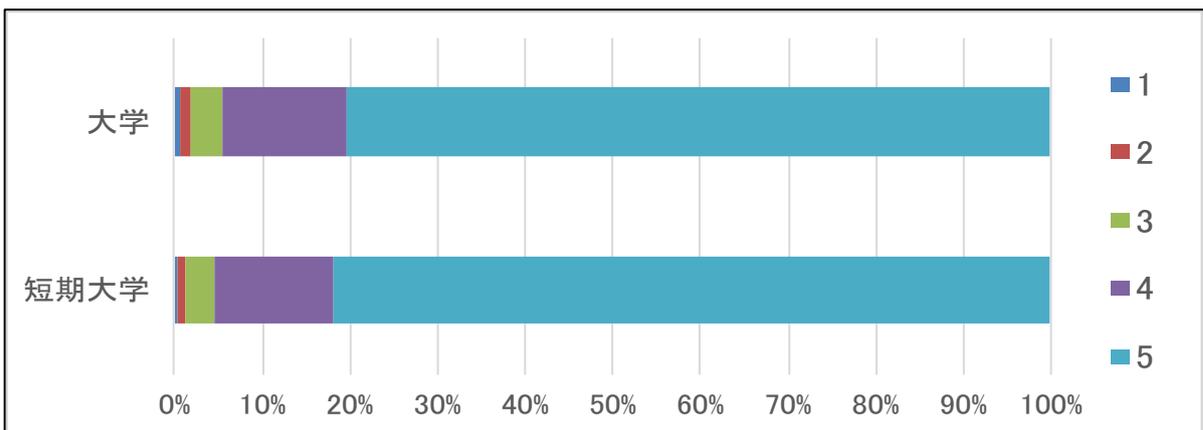
設問 4. 授業の中で成績評価の方法は明示されていましたか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	11	18	89	281	1149	1548
短期大学	4	6	52	269	1201	1532
総計	15	24	141	550	2350	3080



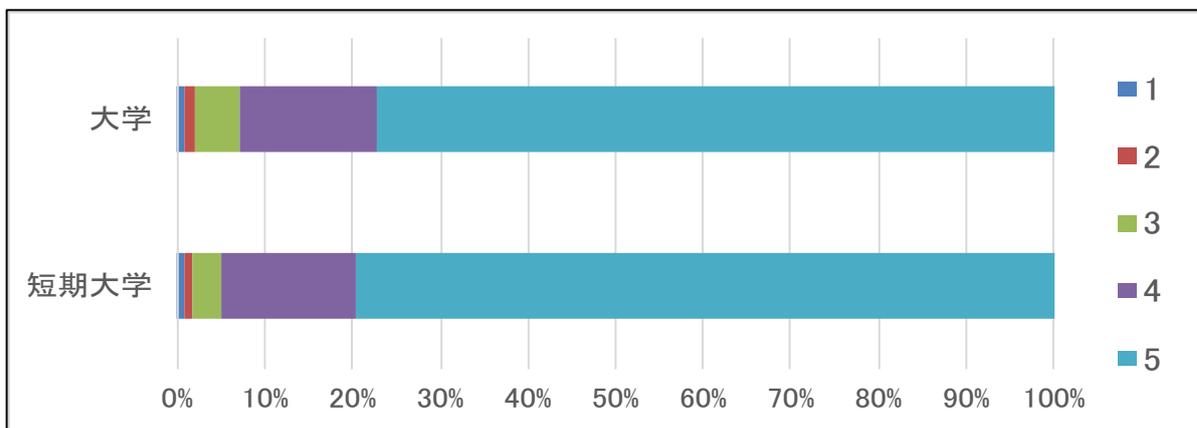
設問 5. 教員は授業の開始・終了の時間を守って授業を進めていましたか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	11	15	56	220	1246	1548
短期大学	5	16	47	211	1253	1532
総計	16	31	103	431	2499	3080



設問 6. 教員は効率的に教材（板書、スライド、動画、演習用教材など）を使用していましたか。

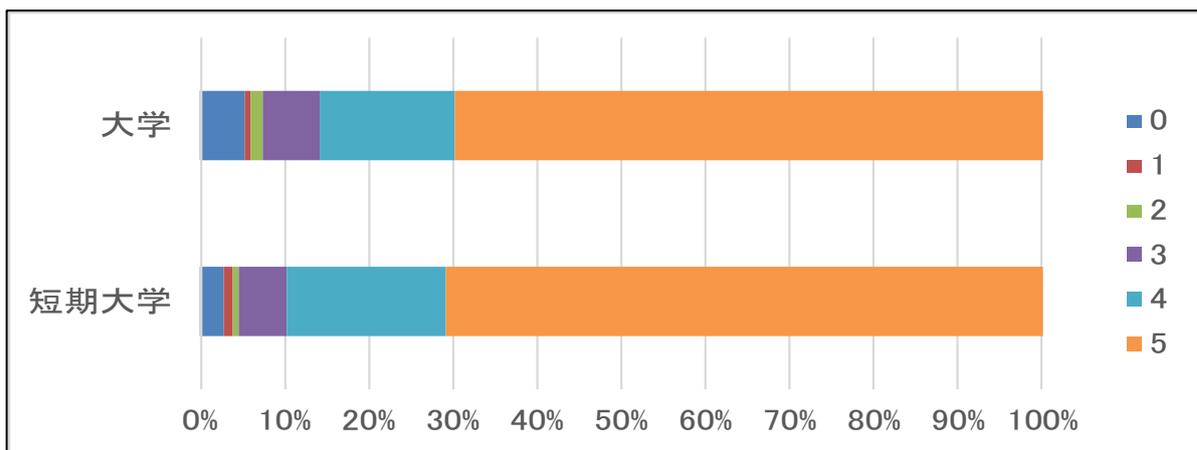
	1	2	3	4	5	総計
大学	13	19	78	243	1195	1548
短期大学	13	13	53	233	1220	1532
総計	26	32	131	476	2415	3080



設問 7. 教科書・参考書・配付資料などは有益でしたか。

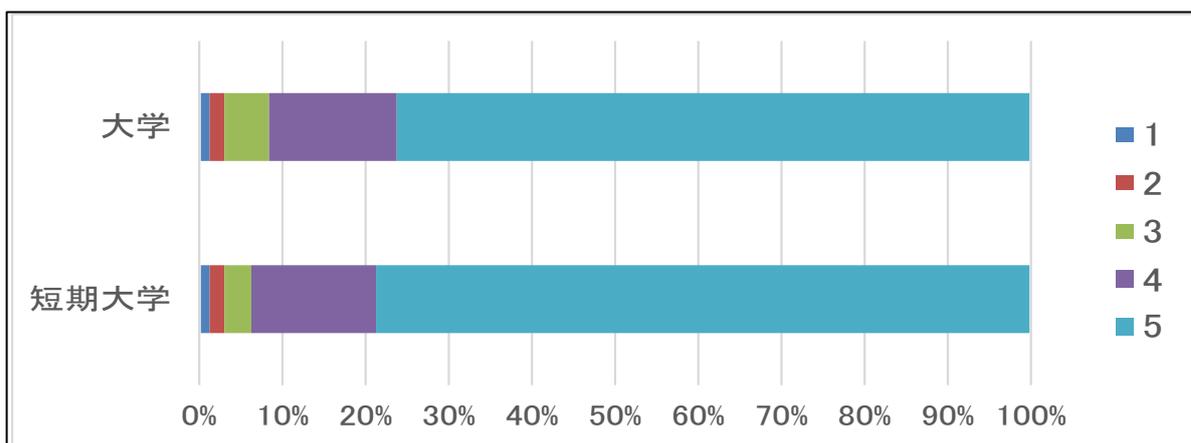
(選択肢: 「0: 使用していない」「1: そう思わない」「2: あまりそう思わない」「3: どちらでもない」「4: 大体そう思う」「5: そう思う」)

	0	1	2	3	4	5	総計
大学	80	12	23	105	250	1078	1548
短期大学	43	15	11	86	291	1086	1532
総計	123	27	34	191	541	2164	3080



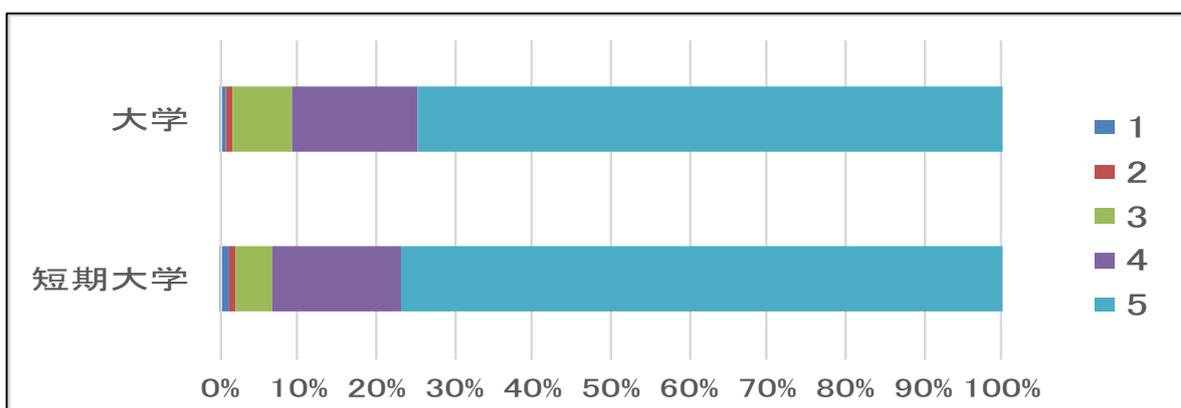
設問 8. 教員の声の大きさや口調は分かりやすかったですか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	18	27	87	238	1178	1548
短期大学	20	29	49	227	1207	1532
総計	38	56	136	465	2385	3080



設問 9. 教員は学生の質問や相談に対応していましたか。

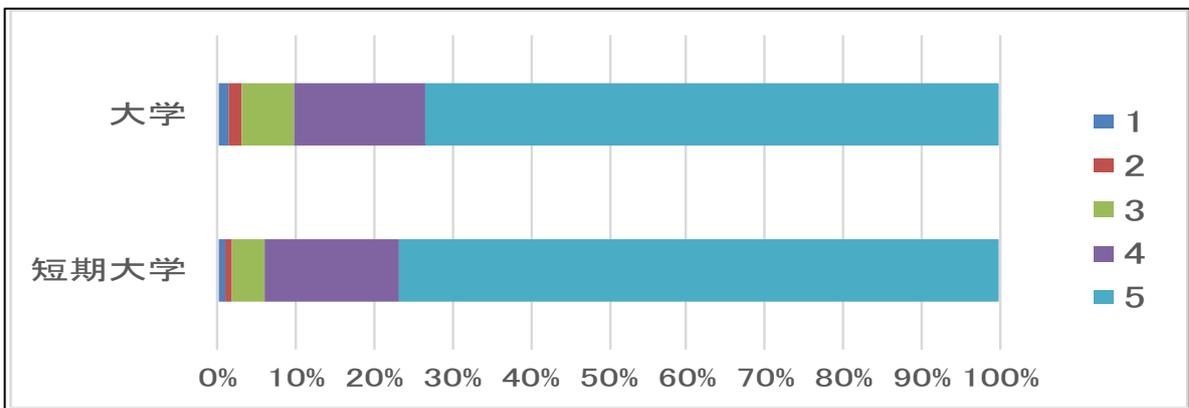
	1	2	3	4	5	総計
大学	14	13	115	247	1159	1548
短期大学	15	14	74	252	1177	1532
総計	29	27	189	499	2336	3080



設問 10. 教員は学生の理解力や反応に配慮して授業をしていましたか。

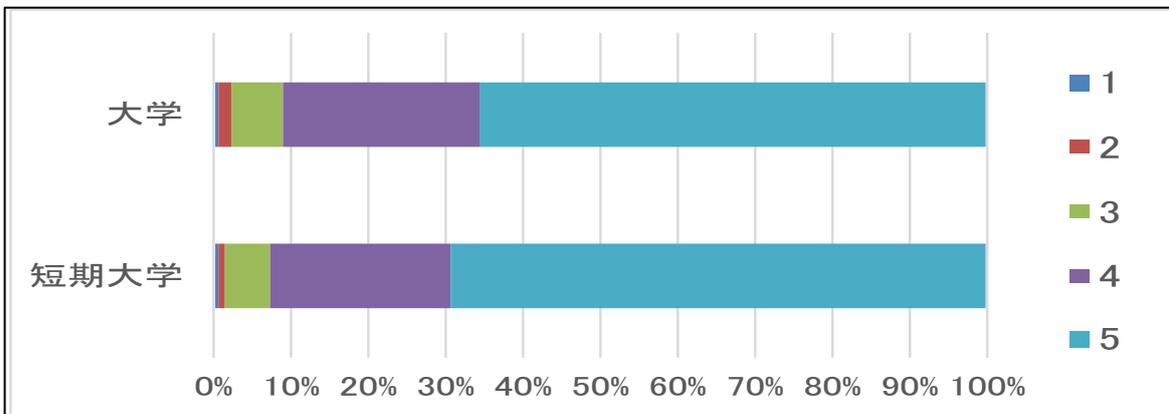
(例：難しい語句の説明など)

	1	2	3	4	5	総計
大学	18	32	101	260	1137	1548
短期大学	14	15	65	262	1176	1532
総計	32	47	166	522	2313	3080



設問 11. あなたはこの授業に積極的に取り組んでいましたか。

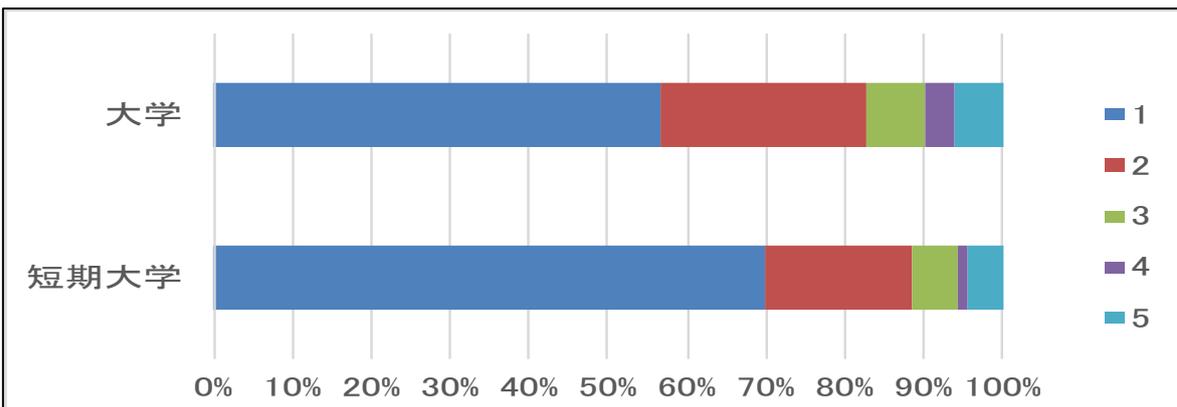
	1	2	3	4	5	総計
大学	11	24	101	398	1014	1548
短期大学	7	17	90	355	1063	1532
総計	18	41	191	753	2077	3080



設問 12. この授業について1週間あたり平均してどの程度予習・復習などの時間外学習をしましたか。

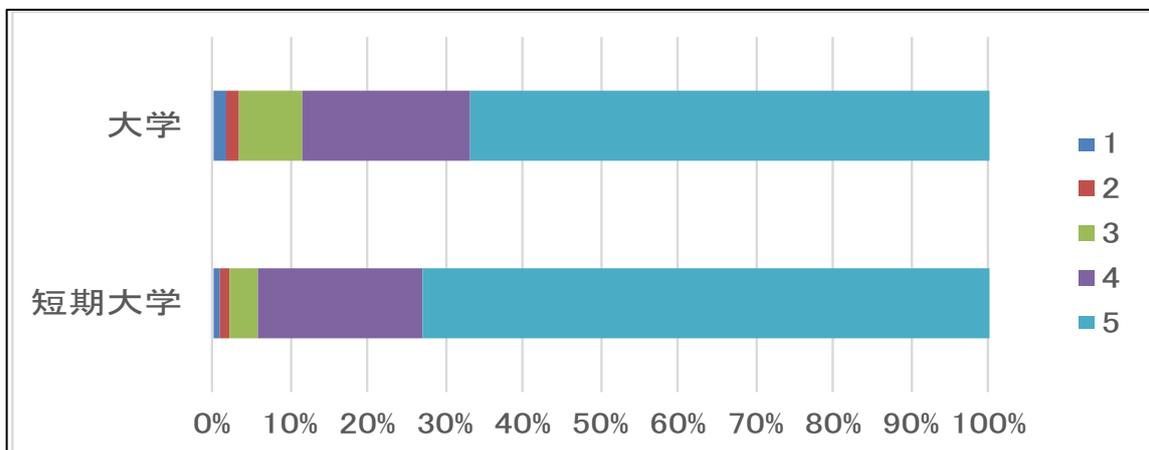
(選択肢:「1:0分以上1時間未満」「2:1時間以上2時間未満」「3:2時間以上3時間未満」「4:3時間以上4時間未満」「5:4時間以上」)

	1	2	3	4	5	総計
大学	876	403	119	54	96	1548
短期大学	1069	290	84	24	65	1532
総計	1945	693	203	78	161	3080



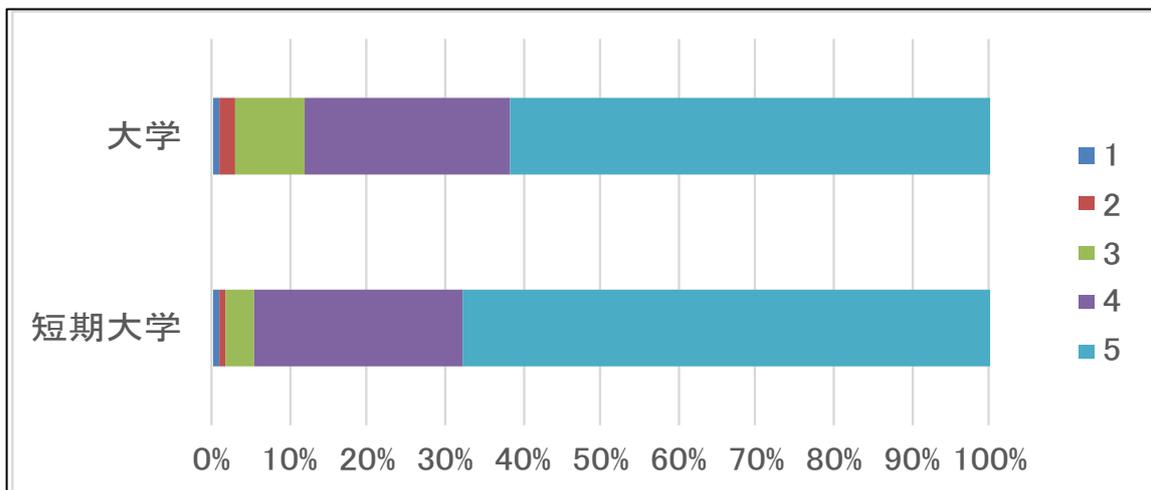
設問 13. あなたはこの授業の内容に満足しましたか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	30	25	127	330	1036	1548
短期大学	17	19	57	320	1119	1532
総計	47	44	184	650	2155	3080



設問 14. これまでに授業を振り返って、内容は理解できましたか。

	1	2	3	4	5	総計
大学	18	30	135	411	954	1548
短期大学	16	13	57	408	1038	1532
総計	34	43	192	819	1992	3080



ご意見・お問い合わせ先

武蔵野学院大学・武蔵野短期大学 ディスクローチャー
(連絡先省略)